

MARUZEN CHI  
Holdings

丸善CHIホールディングス株式会社(3159)

# 第16期 2026年1月期 定時株主総会

2026年4月28日

# 事業報告

(2026年1月期 事業環境・業績)

# 2026年1月期の事業環境


---

## 国内

- 円安・資源高を背景とした物価高騰
- 雇用環境改善・賃金上昇がもたらす底堅い個人消費
- 企業の継続的で活発な設備投資

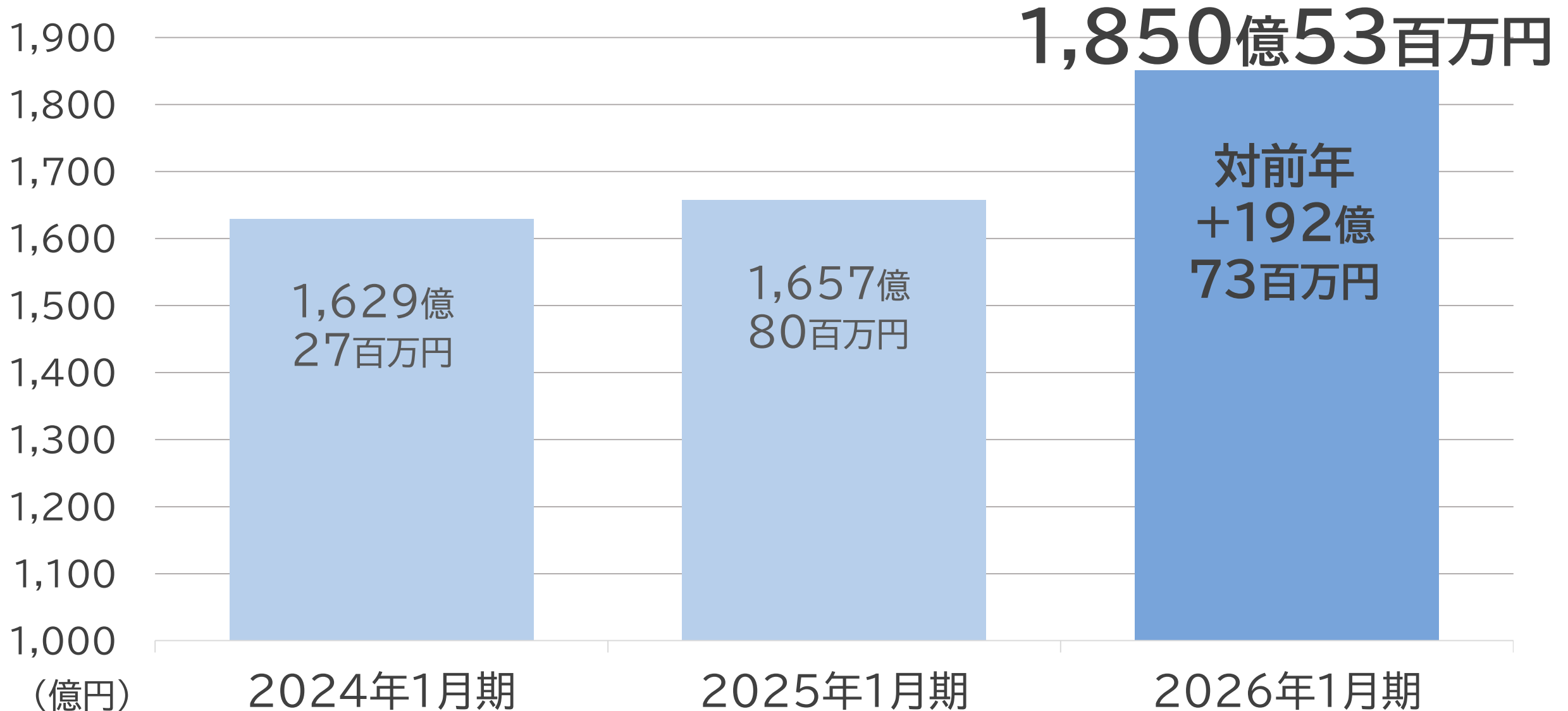
## 海外

- アメリカの関税政策動向
- 中国経済の停滞、日中関係の悪化、中東・ウクライナ情勢の長期化

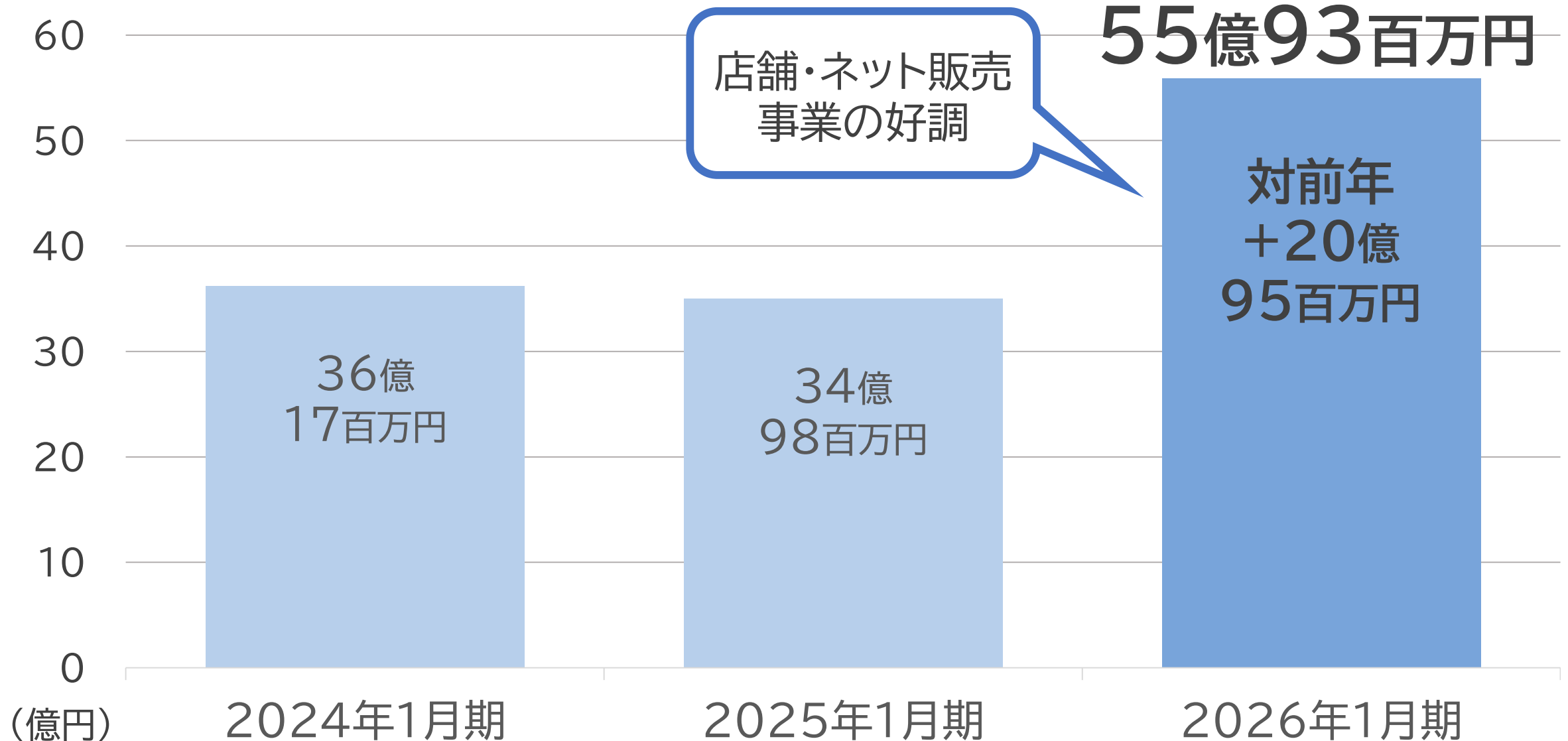


国内景気は緩やかな回復基調の一方、  
先行きが読めない不透明な状況が続く

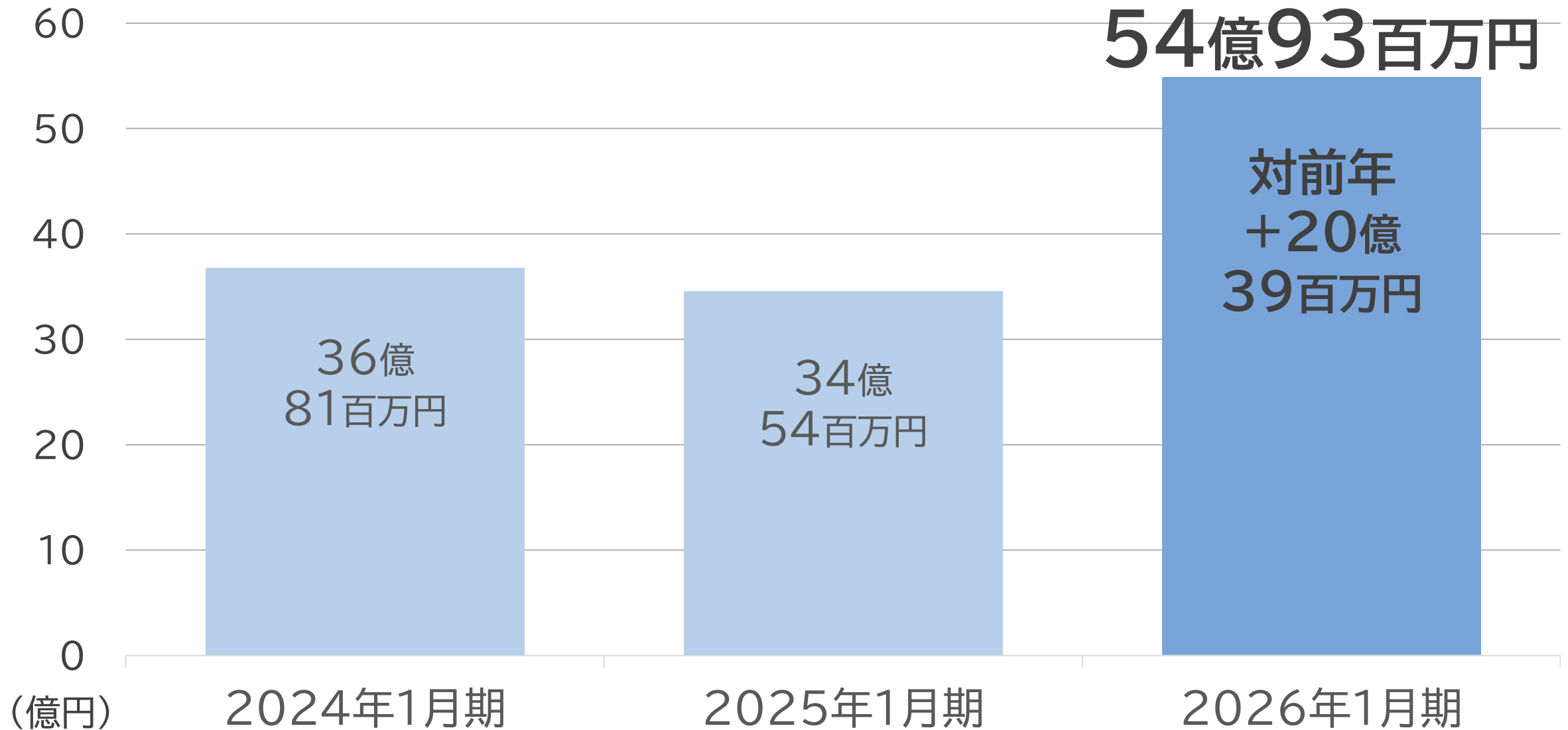
# 2026年1月期:売上高



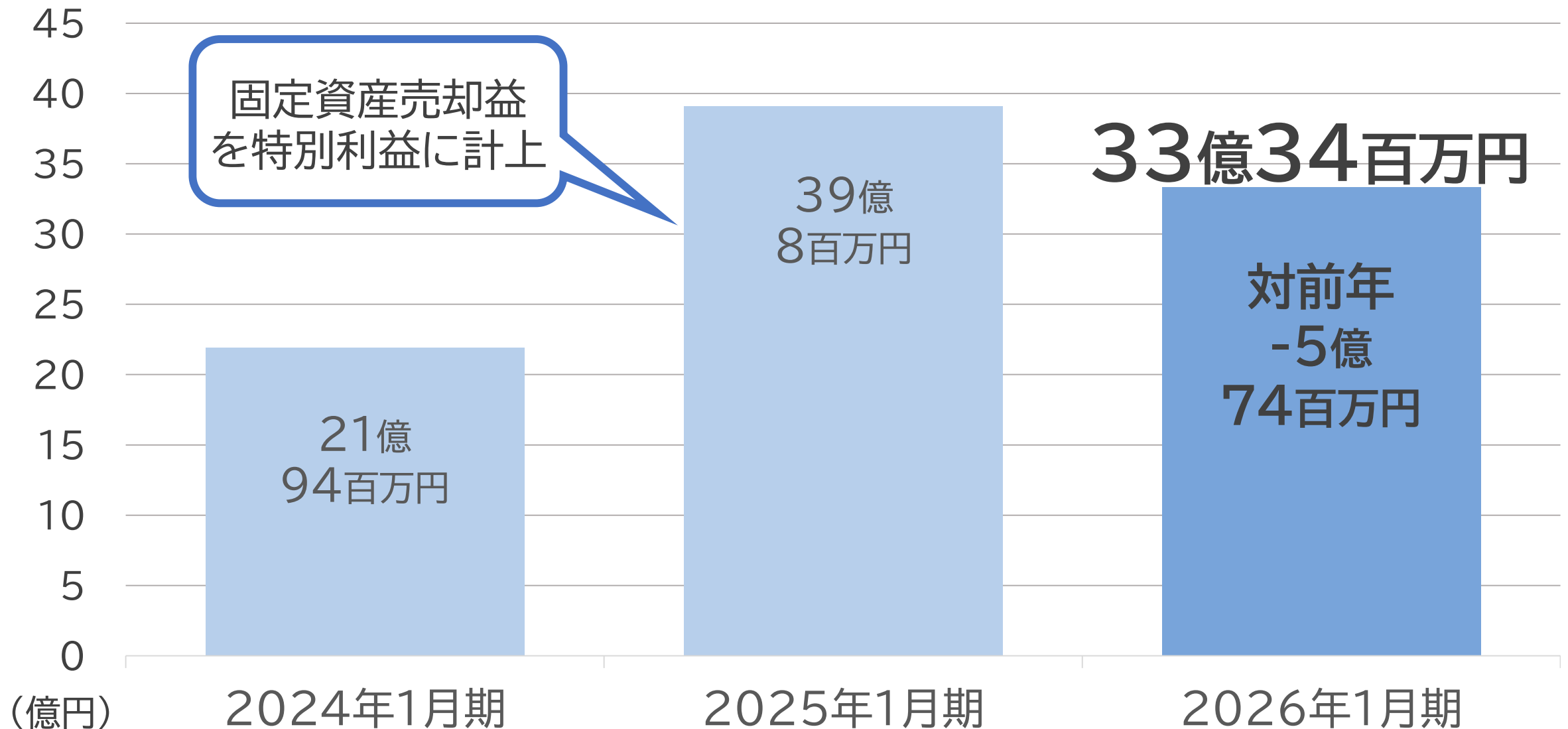
# 2026年1月期:営業利益



# 2026年1月期: 経常利益



# 2026年1月期：親会社株主に帰属する当期純利益



# 事業報告

(2026年1月期 セグメント概況)

# グループセグメント概要

		事業セグメント				
		文教市場販売	図書館サポート	店舗・ネット販売	出版	その他
事業会社		丸善雄松堂				丸善雄松堂 第一鋼鉄工業所 編集工学研究所
		図書館流通センター TRC-ADEAC			岩崎書店	明日香 グローバル・ソリューション ・サービス 図書館流通
				丸善ジュンク堂書店 台湾淳久堂股份有限公司		
		経営理念			丸善出版 丸善プラネット サイオ出版	
		価値観：知は社会の礎である グループビジョン：知の生成と流通に革新を もたらす企業集団となる				丸善リサーチ サービス

# 文教市場販売事業

- ・公共図書館向け販売事業
- ・研究者向け販売事業
- ・大学・研究機関向け販売事業

## 売上高

491億96百万円

対前年 +23億76百万円

## 営業利益

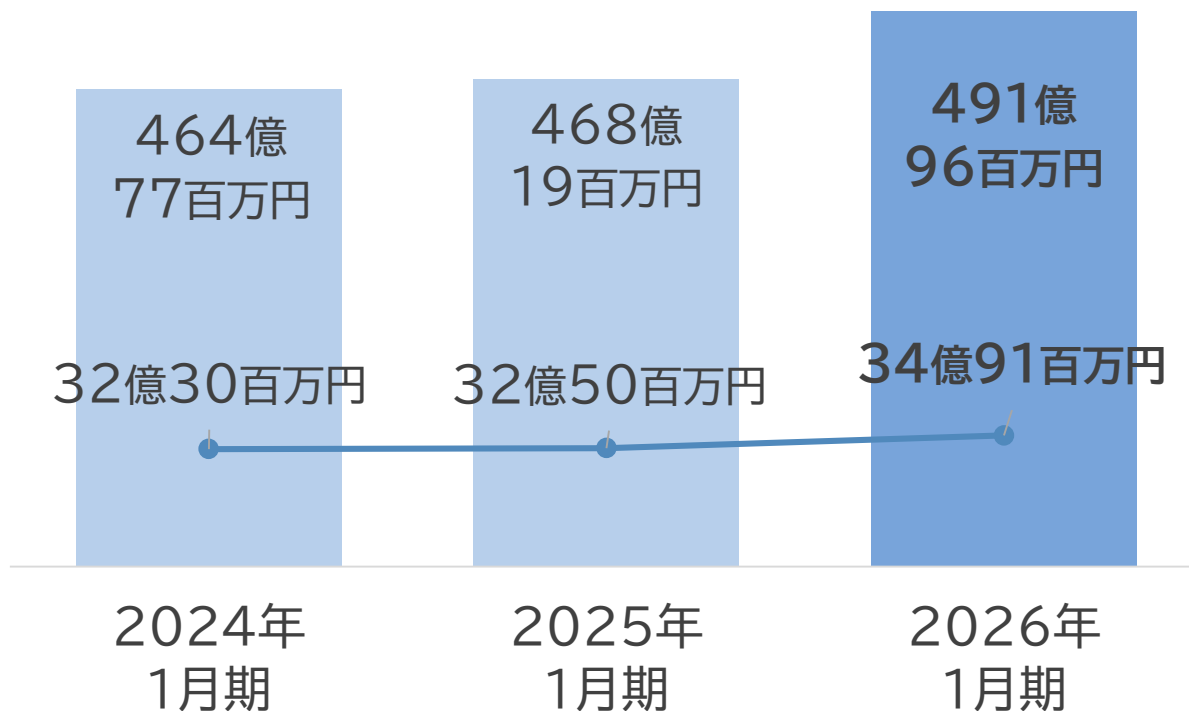
34億91百万円

対前年 +2億40百万円

[主要事業会社]

株式会社  
TRC図書館流通センター

Ⓜ MARUZEN-YUSHODO



## 業績概要

## 増収増益

- 教育・研究施設、図書館などの設計・施工における大型案件の完工増加
- 公共図書館向けの書籍販売が堅調
- デジタルアーカイブプラットフォーム事業のTRC-ADEACを連結範囲に

# 店舗・ネット販売事業

- ・書籍・雑誌 文具・雑貨販売
- ・2026年1月期末店舗数116店

売上高

営業利益

817億76百万円

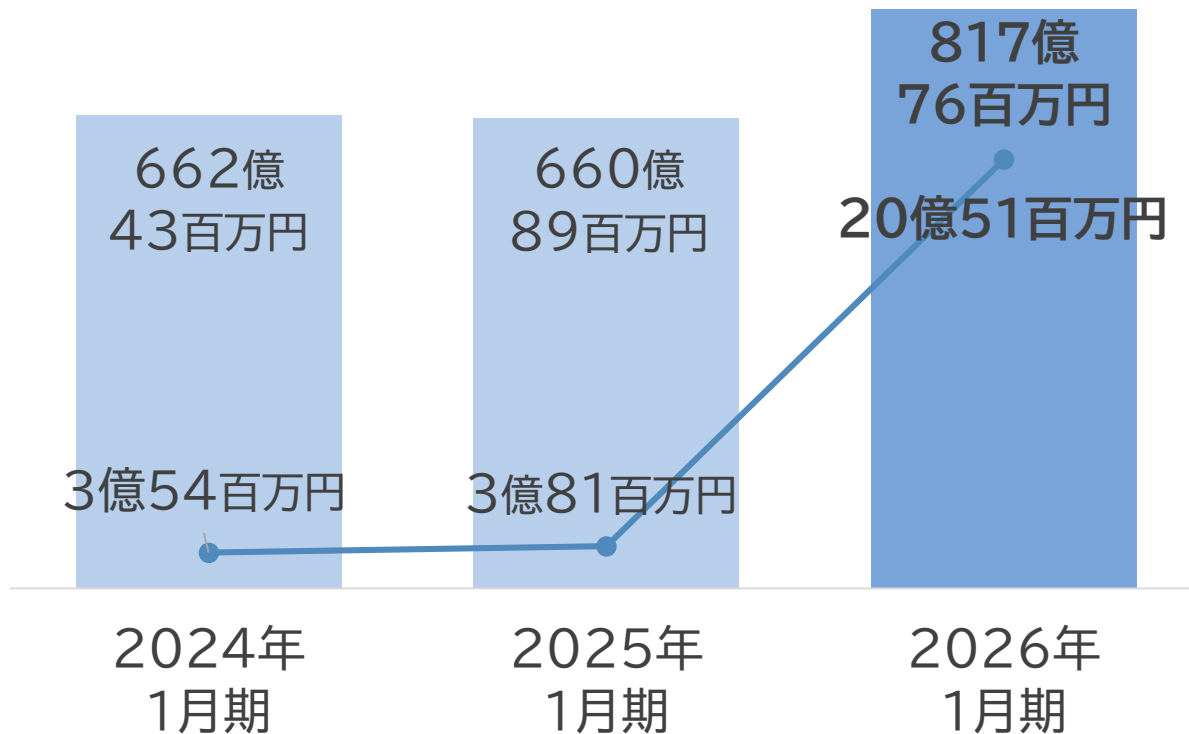
20億51百万円

対前年 +156億86百万円

対前年 +16億70百万円

[主要事業会社]

**MARUZEN** JUNKUDO



業績概要

增收増益

- 2025大阪・関西万博オフィシャルストアでのグッズ販売が好調
- 「駿河屋」FCによるリユース事業の展開を加速
- 粗利益率の高い文具や「EHONS」など雑貨販売が堅調

# 図書館サポート事業

- ・業務受託:カウンター業務、目録作成、蔵書点検等
- ・運営業務:指定管理者制度、PFI(民間資金等活用事業)

売上高

392億72百万円

対前年 +15億90百万円

営業利益

30億19百万円

対前年+96百万円

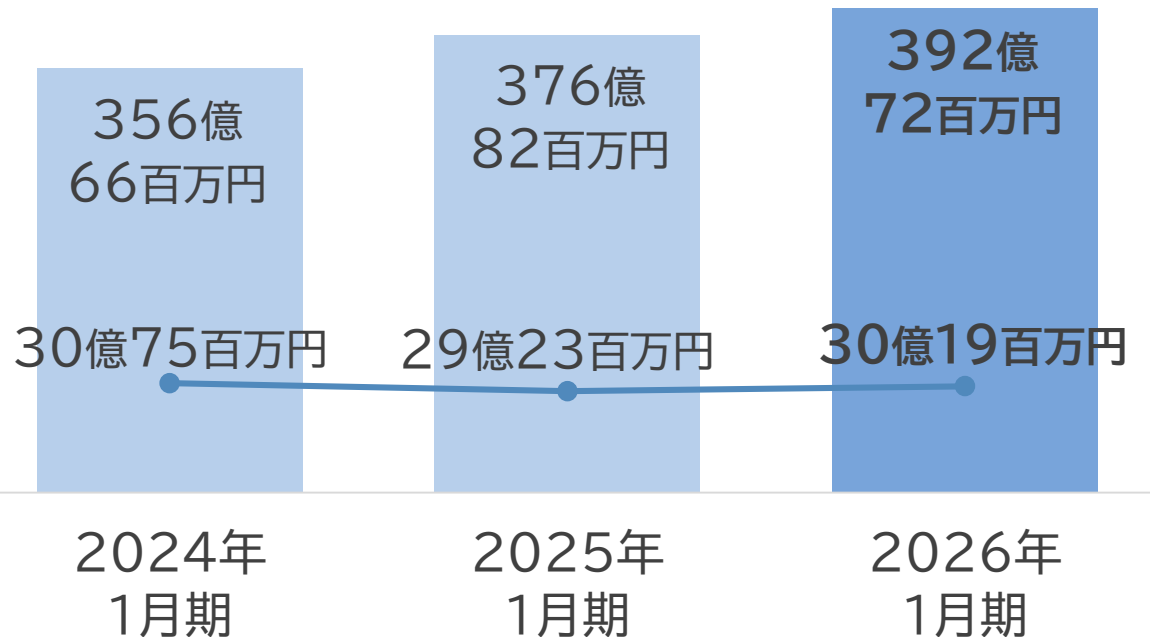
[主要事業会社]

株式会社  
TRC図書館流通センター

Ⓜ MARUZEN-YUSHODO

業績概要

増収増益



- 図書館(公共・大学・学校など)受託館数は前期末1,840館より、11館増加し、1,851館
- 物価・人件費上昇を踏まえ、人手不足対策を推進

# 出版事業

・大学テキスト等の専門書

・絵本・童話等の児童書

売上高

36億96百万円

対前年 +55百万円

営業利益

-1億5百万円

対前年 +2百万円

[主要事業会社]



この1冊が未来をつくる



## 業績概要

## 収益低迷

- 絵本・児童書分野および専門書分野を合わせて300点を刊行(前期271点)
- 発売書・電子書籍・動画配信が伸長
- 専門書や教科書、児童書販売の低迷
- 原価、販管費削減など構造改革



# その他事業

・Apple製品他PC修理サービス・総合保育サービス  
・店舗什器・内装・デザイン・コンサル・教育研修事業

## 売上高

111億11百万円

対前年 -4億35百万円

## 営業利益

6億34百万円

対前年 +1億59百万円

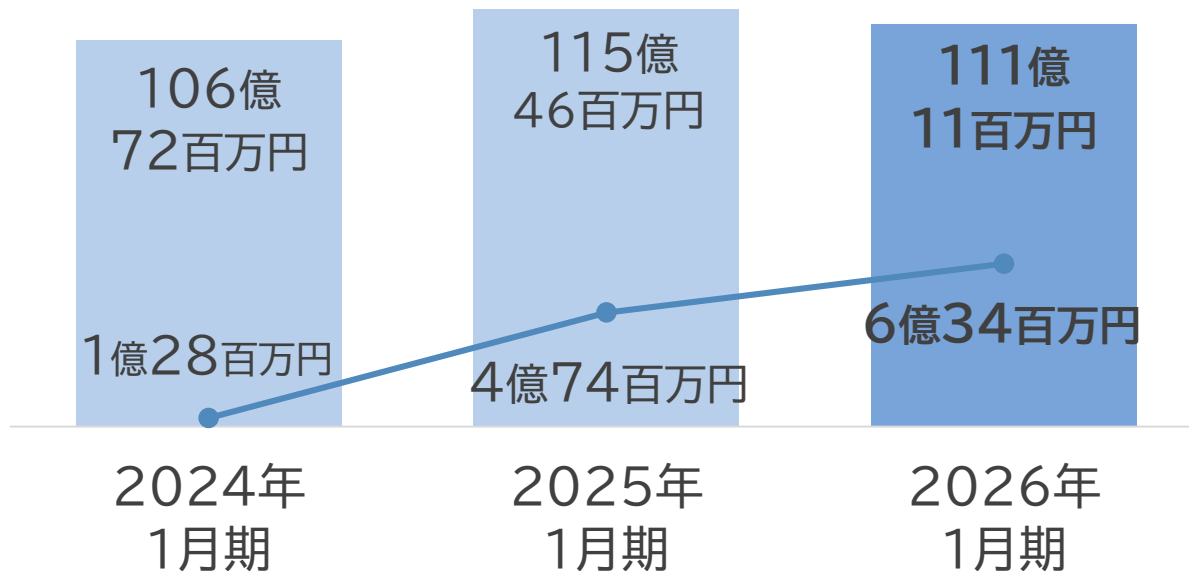
[主要事業会社]



編集工学研究所  
EDITORIAL ENGINEERING LABORATORY

## 業績概要

## 減収増益



- 総合保育サービスの堅調な成長
- 「丸善リサーチ」の事業拡大  
(会員数8,000名超)
- PC修理・サポート事業は苦戦も、ホテル向け端末設置など関連事業が好調

その他の事業報告につきましては、

当社ウェブサイト掲載の

招集ご通知 17ページ ~ 33ページ

株主総会資料 1ページ ~ 11ページ を

ご覧くださいますようお願い申し上げます

なお、対処すべき課題については  
後ほど当期の取り組みとともにご説明いたします

◆連結および個別計算書類につきましては、

## 当社ウェブサイト掲載の

招集ご通知 34ページ ~ 39ページ

株主総会資料 12ページ ~ 30ページ を

ご覧くださいますようお願い申し上げます

# 中期経営計画 (対処すべき課題)

# 中期経営計画(方針)

2025年1月期を初年度とする5カ年の経営の指針として「中期経営計画」を策定し、発表

中期経営計画で  
目指す姿

知の生成と流通に持続的に貢献するための  
**成長力と資本効率の向上**

## 基本方針

### ① グループ資産の活用促進

これまで培ってきたグループ資産の活用促進

### ② 成長領域の創出

市場の環境変化に対応した新しい事業の開発による成長領域の創出

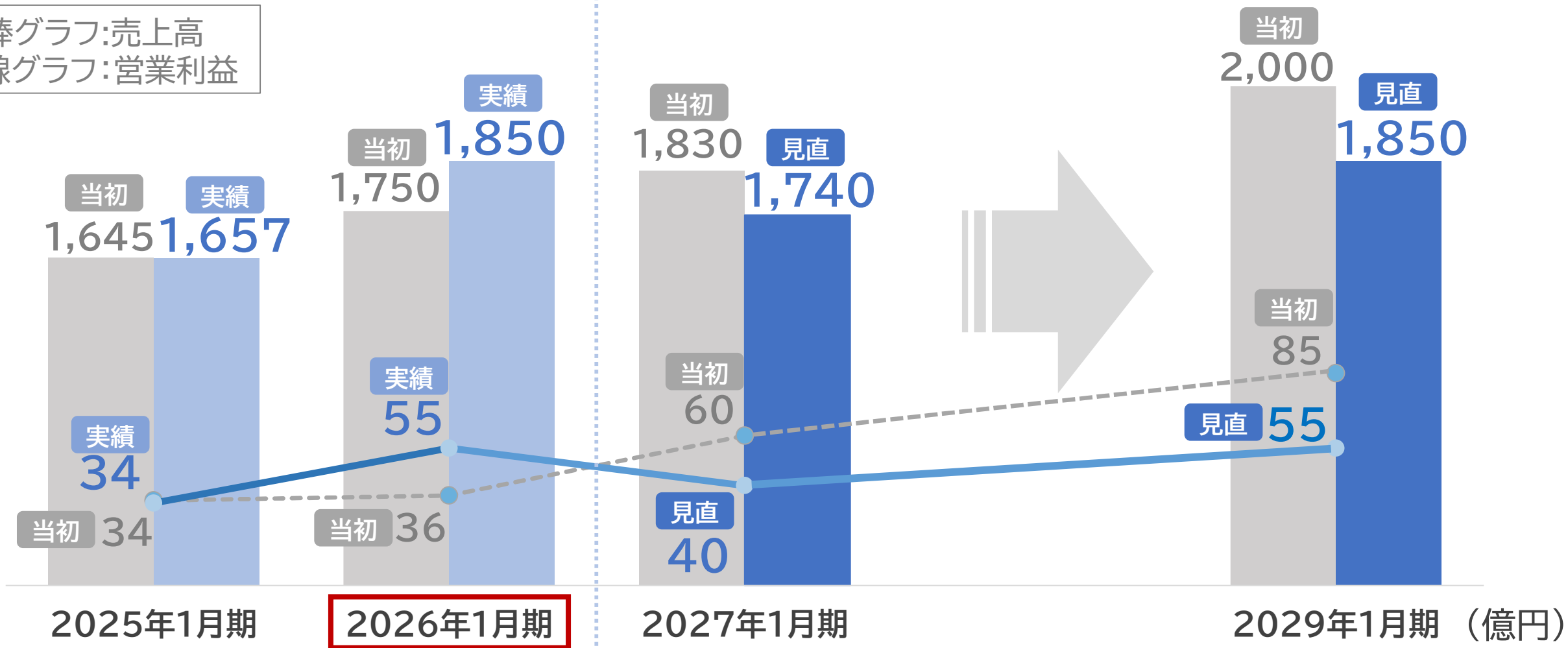
### ③ 収益構造の転換

既存事業の安定化と成長事業への投資による、事業ポートフォリオの転換

# 中期経営計画の進捗と今後の見通し

出版・流通事業を取り巻く環境変化が当初想定を上回って進行していることから、2027年1月期以降の当初の計画について見直し

棒グラフ:売上高  
折線グラフ:営業利益



# 事業セグメント別の計画見直し

## 各セグメントにおいて、残り期間の事業戦略を見直し、計画を再策定

2029年1月期における事業セグメント別見直計画 (億円)

事業セグメント	売上高	営業利益	営業利益率
文教市場販売	476	32	6.7%
店舗・ネット販売	747	10	1.3%
図書館サポート	420	31	7.4%
出版	40	1	2.5%
その他	187	15	8.0%
調整額※	-20	-33	
合計	1,850	55	3.0%

※調整額はセグメント間取引による消去、および管理部門等の全社費用

当社グループ全体として、新しい事業およびM&Aへの取り組みのスピードアップを図り、変革への取り組みを推進する

## 計画未達 要因

- 外部環境の想定を上回る変化への対応
- 新規事業の立ち上げの遅れ

## 成果

- 新規事業構築の足掛かり
- 課題提起と対応

## 今後の 戦略

- 中期経営計画の推進組織であるイノベーションラボの維持・運営の強化

# 計画見直し:各事業セグメント別(1)

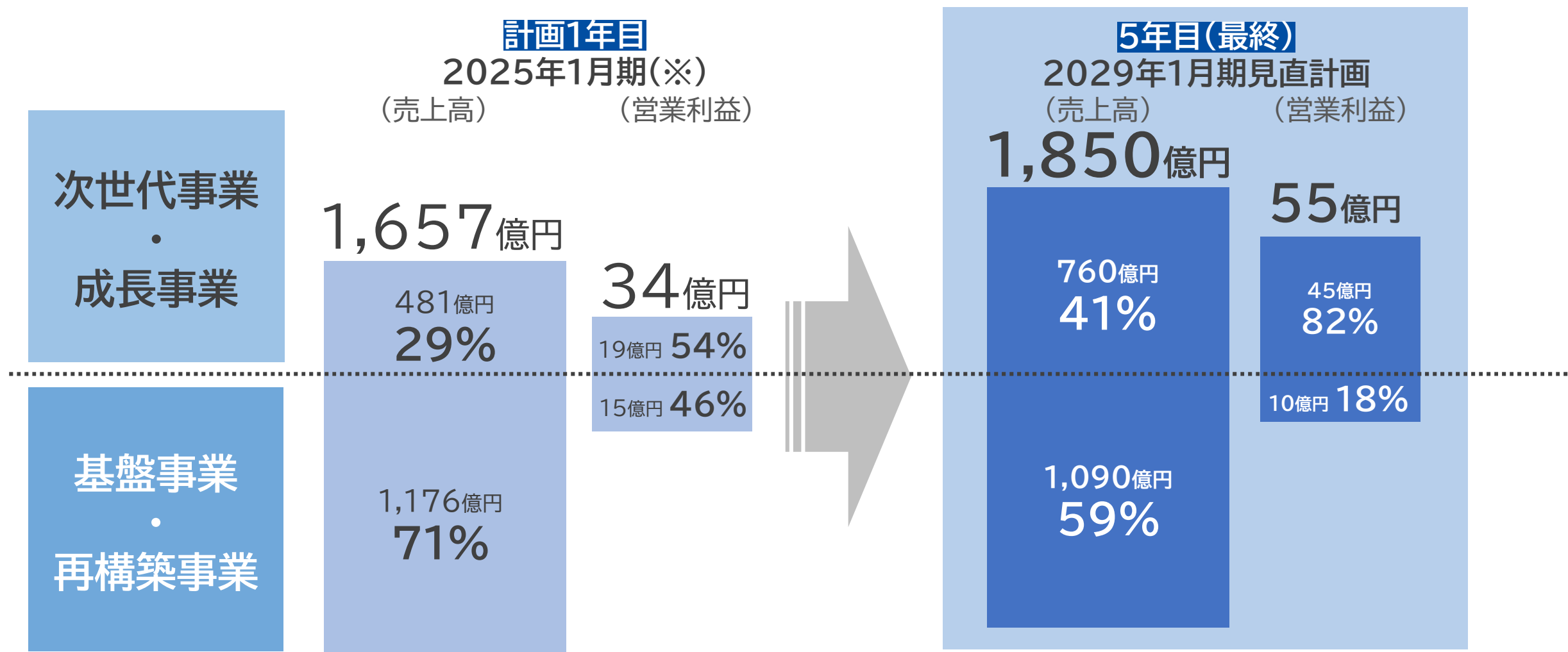
	<u>見直し要因</u>	<u>これまでの成果</u>	<u>今後の戦略</u>
文教市場 販売	紙の専門書・ 教科書市場の 急激な縮小	<ul style="list-style-type: none"><li>▶電子図書館、電子教科書の拡販</li><li>▶大学向け建築・設計事業の拡大</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>▶事業の構造改革</li><li>▶専門家・研究者向け情報サービス、 コミュニティ事業の展開</li></ul>
店舗・ネット 販売	持続性のある 事業構造へ転換	<ul style="list-style-type: none"><li>▶高粗利の文具・雑貨の企画販売 強化</li><li>▶IP関連事業の拡大</li><li>▶グッズ販売・運営力の強化</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>▶IP※・ホビー領域の拡大</li><li>▶大規模イベントの物販・運営受託</li></ul> <p>※IP(Intellectual Property/知的財産)</p>
図書館 サポート	人件費・物価 高騰への 対応遅延	<ul style="list-style-type: none"><li>▶受託件数の安定拡大</li><li>▶図書館外の受託領域の開拓</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>▶AI活用による省力化</li><li>▶公共分野の多様なニーズへの 対応強化</li></ul>

# 計画見直し:各事業セグメント別(2)

	<u>見直し要因</u>	<u>これまでの成果</u>	<u>今後の戦略</u>
出版	専門書・児童書市場の停滞からの脱却の遅れ	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ 専門書領域の拡大と良質な書籍の提供</li><li>▶ 丸善リサーチと連携した刊行企画・セミナー展開</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ 専門家向け・教材等のデジタル事業の開発</li><li>▶ 絵本IPの多面的な活用推進</li></ul>
その他	新規事業立ち上げの遅れ	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ 保育サービス事業は想定を上回る成長</li><li>▶ 丸善リサーチは2027年1月期に単年度黒字化見込み</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ 丸善リサーチモデル(書籍読み放題サブスクモデル)の他領域への展開とコンテンツ生成流通基盤の構築</li><li>▶ IP、海外展開、M&amp;Aを軸とした新規事業開発</li></ul>

# 計画見直し:収益構造モデル転換

デジタルコンテンツ、公共施設運営受託、子育て事業など収益性・成長性の高い事業に積極投資のうえ利益創出し、収益構造の転換を図る



※ 2026年1月期は、大阪・関西万博オフィシャルストアの影響により他年度との比較が困難なため、比較対象を2025年1月期として表示

# 計画見直し:投資計画(キャッシュアロケーション)の見直し

計画期間内にて実現可能性の高い案件に対し優先的に投資をおこなう

2027年1月期~2029年1月期の  
キャッシュフロー

営業キャッシュフロー  
約200億円  
(3年間累計)

成長事業創出による営業キャッシュ  
フローの拡大と、グループ全体での  
資金の効率的な運用



資金使途

次世代・成長事業への投資

新規事業投資  
約60億円

M&A投資  
約70億円

既存事業投資 + 既存設備更新等  
約35億円

株主様への還元  
(2029年1月期の配当性向目標30%以上)

# 計画見直し:業績目標

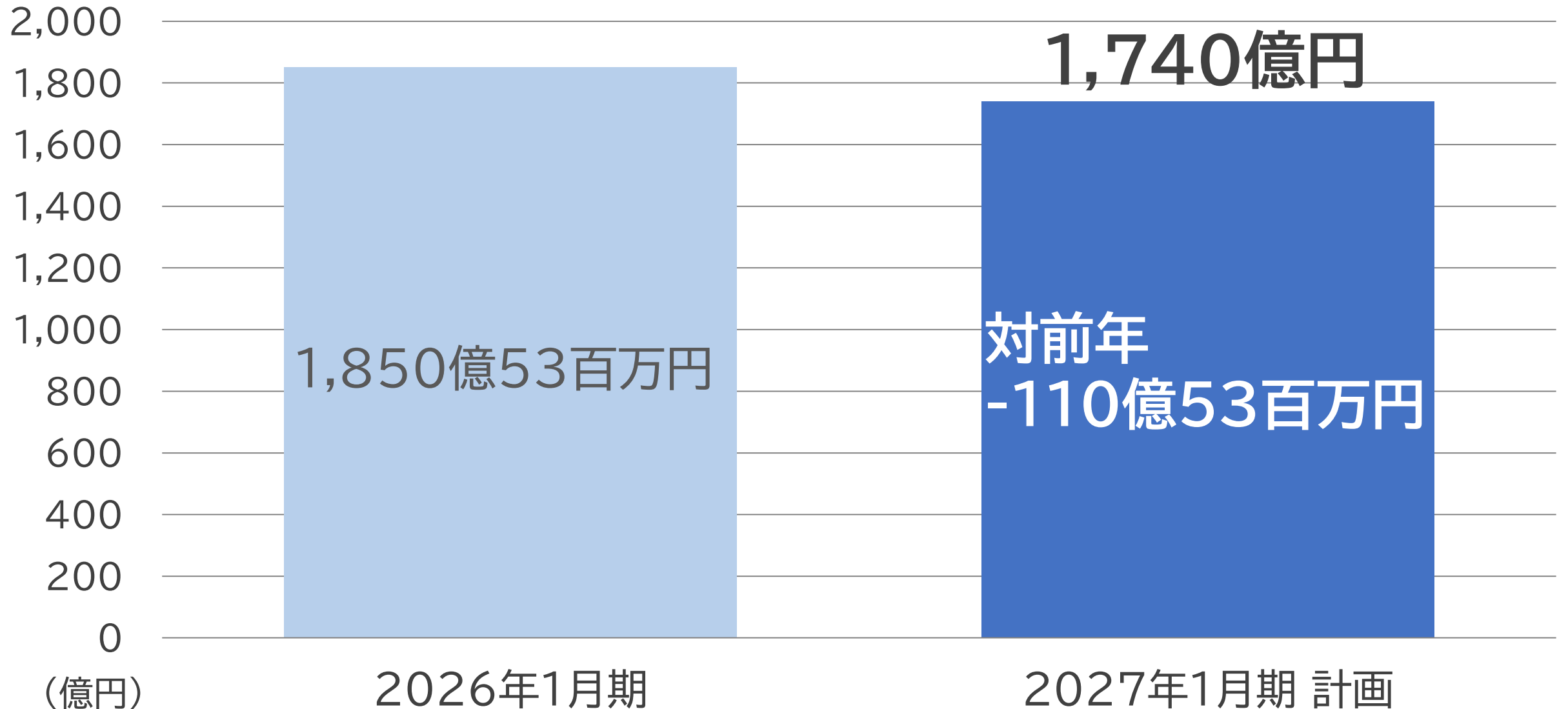
2029年1月期を目途として、売上高1,850億円、営業利益率3.0%、ROE5.8%以上を目指す

(億円)	2024年1月期 実績	計画1年目 2025年1月期 実績	2年目 2026年1月期 実績	3年目 2027年1月期 業績予想	同5年目(最終) 2029年1月期 見直計画
売上高	1,629.2	1,657.8	1,850.5	1,740	1,850
営業利益	36.1	34.9	55.9	40	55
営業利益率	2.2%	2.1%	3.0%	2.3%	3.0%
純利益	21.9	39.0	33.3	24.7	34
純資産	477.6	517.4	546.3	-	620
ROE	4.8%	8.0%	6.3%	-	5.8%以上

※PBRについては、中期経営計画の目標に加え、早期に1倍の実現を目指す(2026年1月末 0.6倍)

# 第17期 2027年1月期計画

# 2027年1月期:売上高計画

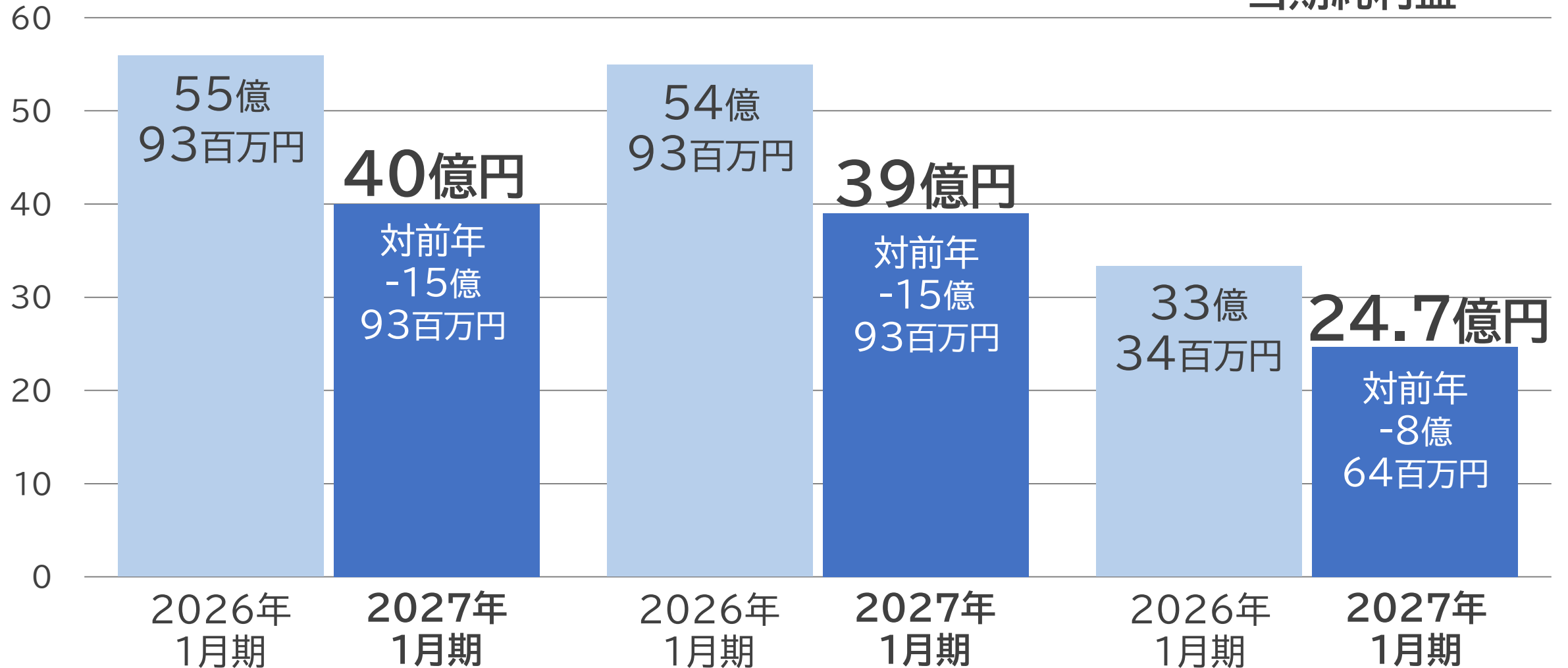


# 2027年1月期:利益計画

## 営業利益

## 経常利益

## 親会社株主に帰属する 当期純利益



# 2027年1月期:配当計画

---

2026年3月公表の「中期経営計画の見直し」において記載のとおり、当社グループでは2029年1月期に配当性向30%以上とする目標を置き、「中期経営計画」の取り組みを推進することで収益性と資本効率を高め、株主に対する利益還元を促進することとしております。

この方針のもと、次期2027年1月期の配当につきましては、業績計画でお示しした利益が確保できることを前提に、1株当たり6円の配当を予定しております。

# 上場維持基準の適合状況について

## 東証スタンダード市場における 上場維持基準の適合に向けた計画

2026年1月末日時点における  
東証スタンダード市場の上場維持基準への適合状況

	株主数	流通株式数	流通株式 時価総額	流通株式 比率
当社の状況	44,094人	231,300単位	78億円	24.9%
上場維持基準	400人以上	2,000単位以上	10億円以上	25%以上

# 上場維持基準の適合に向けた計画

## 課題

- 当社は過去の経営統合、事業再編の経緯から関係会社、傘下の事業会社の取引先を中心とした国内法人による安定株主比率が高く、株式市場における流動性が低い状態である

## 取り組み内容

- 中期経営計画に着実に取り組むことで、企業価値を向上させるとともに、投資家の皆様への情報発信を充実させ、当社株式の魅力を高める施策を講じる
- ただちに大株主などを中心に、保有株式の市場売却などを打診し、上場維持基準に適合する見込みである

## 計画期間

- 2027年1月末日

以上、対処すべき課題について  
ご説明申し上げます

# 第16期 定時株主総会

# 本総会でご審議いただく 議案の概要 ご説明

# 第1号議案

## 剰余金の処分の件

【招集ご通知:5ページ】

# 第2号議案

## 取締役

(監査等委員である取締役を除く)

## 5名選任の件

【招集ご通知: 6ページ~10ページ】

**第3号議案**  
**監査等委員である**  
**取締役4名選任の件**  
**【招集ご通知:11ページ~14ページ】**

# 質疑応答

スマートフォンから議決権行使を頂いた株主様に対して行ったアンケート調査には、たいへん多くの皆様よりご回答をいただき、御礼申し上げます。

その中でとくにご関心をお寄せいただいた3点についてご回答申し上げます。

- (1) 配当について
- (2) 株主優待について
- (3) 当社の株価について

# 質疑応答

- ご発言に際しましては、挙手をお願いいたします。
- 議長が指名いたしましたら、マイクのところにご移動いただき、最初に入場票の番号とお名前をお願いいたします。
- ご質問は目的事項に関するものに限り、お一人様1回につき1問とさせていただきます。
- 出来るだけ要点をまとめてご発言くださいますようお願いいたします。
- 株主の皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

# 議案の採決

第1号議案	剰余金の処分の件
第2号議案	取締役(監査等委員である取締役を除く) 5名選任の件
第3号議案	監査等委員である 取締役4名選任の件

本日はありがとうございました

今後ともご指導 ご鞭撻を賜りたく  
よろしくお願ひ申し上げます



MARUZEN CHI  
Holdings